

慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記 ; 奥付
Sub Title	
Author	皆川, 泰代(Minagawa Kawai, Yasuyo)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2009
Jtitle	Newsletter Vol.10, (2009. 12) ,p.8- 8
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002003-00000010-0090

事務局だより

●平成 22 年度 COE 研究員 (常勤：准教授・助教・PD) 公募について

若手研究者を対象に COE 研究員(常勤:准教授、助教、または PD)を公募致します。詳しい条件等は、拠点ホームページの募集要項をご覧ください。

活動予定

■ 国際シンポジウム

人間知性研究センター第 3 回シンポジウム
 Toward Sustainable Social Systems:
 Phase transition - Evolution -Polysemy
 持続可能な社会システムの構築をめざして:
 相転移 - 進化 - 多義性

開催日：12月14・15日(月・火)
 会場：日吉キャンパス協生館藤原洋記念ホール
 主催：人間知性研究センター、独立行政法人理化学研究所 脳科学総合研究センター
 講演者：Chris Wood (SFI)、Monique van Donzel (NTU)、Erling Norrby (KVA,IPL)、Luis Bettencourt (LANL,CHC)、Michel Hoffman (KNAW, Netherlands)、John Holland (Univ. Michigan,SFI)、Yilong Yu (NTU)、Peter van den Besselaar (Rathenau Institute,IPL)、Helena Hong Gao (NTU)、Daan Frenkel (Univ. of Cambridge,IPL)、Jessika Trancik (SFI)、Jan Vasbinder (IPL)、入来篤史(理化学研究所 BSI)、安西祐一郎(塾内理工学部)、岡野栄之(塾内学医学部)、前野隆司(塾内システムデザイン・マネジメント研究科)、渡辺茂(脳と進化班)

■ 一般公開シンポジウム

「ことばの力を育む」授業の展開
 ～みんなで探ろう、小学校英語活動への対処法～

開催日：12月19日(土) 13:00～18:00(予定)
 会場：日吉キャンパス独立館 DB201
 主催：全体(言語と認知班)
 共催：Project Language Teaching (PLT)、慶應義塾大学出版会
 協賛：財団法人ラボ国際交流センター
 登壇者：齋藤菊枝(埼玉県立大宮東高等学校教頭)、三森ゆりか(つくば言語技術研究所)、末岡敏明(東京学芸大学附属小金井中学校教諭)、森山卓郎(京都教育大学教授)、窪園晴夫(神戸大学教授)、寺尾康(静岡県立大学教授)、大津由紀雄(言語と認知班)

■ 一般公開シンポジウム 第 3 回京都大学・慶應義塾大学 グローバル COE 共催シンポジウム 子どものこころの発達と教育～最新の研究成果に学ぶ～

開催日：2010年1月9日(土)
 会場：三田キャンパス西校舎 519 教室
 講演者：明和政子(京都大学大学院教育学研究科)、松下佳代(京都大学高等教育研究開発推進センター)、安藤寿康(遺伝と発達班)、皆川泰代(脳と進化班)

■ 認知心理学のフロンティア：公開シンポジウム I 「裁判員裁判における理性と感性：裁判長、直感で決めてもいいですか？」

開催日：2010年1月16日(土) 午後
 会場：三田キャンパス北館ホール
 主催：全体(言語と認知班) 共催：日本認知心理学会
 講演者：杉田宗久(大阪地方裁判所判事)、指宿信(成城大学)、高橋雅延(聖心女子大学)、中村國則(東京工業大学)、綿村英一郎(東京大学)、松尾加代(慶應義塾大学)、伊東裕司(言語と認知班)

■ 国際シンポジウム

Shedding light on the developing brain

開催日：2010年1月30日(土)
 会場：三田キャンパス G-SEC Lab
 企画班：脳と進化班・遺伝と発達班 企画者：皆川泰代
 講演者(予定)：Emmanuel Dupoux(LSCP,ENS-EHESS-DEC-CNRS)、Susan Hespos (Northwestern Univ.)、保前文高(首都大学東京)、直井望(京都大学)、辻井岳雄(脳と進化班)、太田真理子(遺伝と発達班) ほか

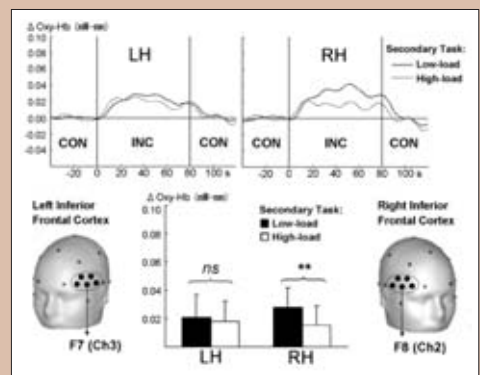
■ 2009 年度若手研究成果報告会

開催日：2010年2月1・2日(月・火)
 企画班：全体 企画者：渡辺茂
 会場：三田キャンパス北館大会議室
 講演者：CARLS 若手研究員(計 25 名)

プレスリリース情報

慶應義塾大学大学院社会学研究科の渡辺茂教授と辻井岳雄特別研究准教授は、このたびグローバル COE プログラム「論理と感性の先端的教育研究拠点」における論理・情報班との共同研究で、ヒトが三段論法の問題を解いているときの脳の活動について光トポグラフィー装置を用いて測定し、その結果、論理的に思考しているときは右半球の下前頭回(inferior frontal gyrus)と呼ばれる領域が強く活動することが明らかになりました。また、右半球の下前頭回の活動が強い人ほど物事を論理的に考える傾向が強く、この部位の活動の弱い人は常識や雰囲気の流れやすい思考パターンを持つことも明らかになりました。

このことを 2009 年 8 月 24 日に慶應義塾よりプレスリリースし、日経産業新聞、読売新聞オンラインなど各紙で広く報道されました。



編集後記 夏休みから 10 月にかけての CARLS 関連のセミナー、講演会を中心とした活動の様子をお伝えします。この時期、政権が変わりアカデミアの世界も多少なりとも不安定要因を被って参りましたが、CARLS では脳の講習会も今年度で 2 年目、そして慶應ケンブリッジセミナー、プロジェクト科目も 3 年目を迎え、着実に教育研究が遂行されています。……とここまで 10 月下旬にはのんびり書いていたのですが、以降、本号の初校、再校とあがるにつれ、新政府の予算削減の波は想像以上に科学研究予算に影響を及ぼしてきました。現在、科学研究は危機的状況にあるといっても過言ではないでしょう。CARLS の“科学の若い芽を育て、世界につなげる”教育研究を含め科学研究自体を、より長期的視野で捉えた上で評価されることを切に願います。末筆ながら執筆者、協力者各位に感謝申し上げます。(皆川泰代)

慶應義塾大学 論理と感性の先端的教育研究拠点
 Centre for Advanced Research on Logic and Sensibility
 Newsletter 2009, December, No. 10

発行日 2009 年 12 月 10 日
 代表者 渡辺 茂
 〒 108-0073 東京都港区三田 3-1-7 三田東宝ビル 7F・8F
 TEL : 03-5427-1156
 FAX : 03-5427-1209
 keiocarls@info.keio.ac.jp
 http://www.carls.keio.ac.jp/